教学入門 ⑥　難を乗り越える信心

※難を乗り越える信心について、空欄に適切な言葉を入れて次の文章を完成させなさい。

成仏を目指す仏道修行者の途上には(　　)という障害が必ず起きます。
言い換えれば障魔が現れた時こそ、(　　)への大きな前進の時です。
大聖人は「凡夫の(　　)になる又かくのごとし、必ず(　　)と申す障いできたれば(　　)はよろこび(　　)は退くこれなり」と、賢者の信心であれと指導されています。
また末法で広宣流布を実践する法華経の行者には三種類の強い迫害者が現れます。この迫害者を(　　)と呼びます。

成仏　仏　三障四魔　賢者　愚者　三類の強敵　第六天の魔王

※三障四魔について答えなさい。
それぞれ三障の何にあたるか記入しなさい。
(　　障)自身の煩悩によって信心が妨げられる。
(　　障)現世の悪業による信心の妨げ。妻子等の身近な存在によって起こる。
(　　障)過去世の悪業の報いとして現世に受けた悪い境涯による信心の妨げ。
国主や父母等、自分が従わなければならない存在によって起こる。

それぞれ四魔の何にあたるか記入しなさい。
(　　魔)五陰(心身の働き)の不調和による信心破壊
(　　魔)貪り、瞋り、癡などの煩悩による信心破壊
(　　魔)信仰者の生命を断つことによる信心破壊
(　　魔)生命の最も本源的な迷いによる信心破壊。第六天の魔王による妨げ。

※三類の強敵についてそれぞれ何にあたるか記入しなさい。
(　　)増上慢　法華経の行者を迫害する、仏法に無知な衆生。
悪口罵りして危害を加えることもある。
(　　)増上慢　法華経の行者を迫害する僧侶(比丘)。
仏法を極めていないのに誤った自分の考えに固執して迫害する。
(　　)増上慢　法華経の行者を迫害する高僧。
聖者のように仰がれているが権力者を動かして迫害する。

次の文章の空欄を埋めて文章を完成させて下さい。

三類の強敵のうち、最も悪質で見破り難いのが(　　)増上慢です。具体的には、大聖人御在世時の代表格が(　　)であり、現代では(　　)です。
大聖人は三類の強敵を引き起こしたことで、末法の(　　)の行者であることの証明とされました。

俗衆　道門　僭聖　極楽寺良観　北条時頼　法華経　日顕
諸宗教団体